

日本の ビジネスカルチャー研修

Managing Overseas Talent

for
海外籍社員を受け入れる上司

7Seas

日本文化・商習慣・働き方の特異性に気づく

プログラムの特徴

海外籍社員を採用、協働することの意味を自覚する

中長期的な視点と視座をもって、自分ごととして海外籍社員との協働の意味を理解し、本研修に対する動機付けをおこないます。

文化の違いによって発生するギャップを体験する

文化の違いを感じさせる状況について、様々な視点からディスカッションを行います。業務で類似する状況に直面した際の対応を自分ごととしてイメージできるようにします。

海外籍社員の順応を促す具体的な行動を理解する

日本のビジネス文化の特徴を具体的な事象と背景にある文化的特徴を連動させながら様々な角度から紹介し、上司が注意すべきコミュニケーション／行動をまとめます。

プログラム概要

対象者	海外籍の配属先上司・同僚／1名～実施可能														
実施形式	対面、オンラインいずれも可／半日														
想定される課題	仕事の進め方における商習慣の違いを理解できずに、日本のやり方を押し付けがち 仕事の考え方や進め方が容易に理解し合えない結果、お互いにネガティブな感情が醸成される 結果として海外籍社員が職場・職務に馴染めずに早期に離職してしまう														
目的	グローバリゼーションとダイバーシティが及ぼすインパクトを自覚する 海外籍社員との文化的差異に柔軟性をもって対応する実践的なコミュニケーションを学ぶ 海外籍社員の活躍を支援する環境づくりを考える														
特長	グローバルビジネスに特化したコンサルティング実績をもとにした実践的な内容 個社特有の状況に沿ったケーススタディの設計により学習内容と現場実践のスムーズな連結 海外籍社員向けの研修講師が登壇することで、双方の視点を踏まえた効果的な研修進行														
受講生の声	独特な日本人の価値観を認識、自覚することの大事さを認識できた 相互理解を進めるためには、まずは自分がしっかり歩み寄らないといけない 国による特性は個人差もあるが、その良さを引き出せるようにマネジメントしたい 事前情報を得られたことで、新入社員の受け入れ準備をよりしっかりできると思う 相手と向き合い丁寧なコミュニケーションをとり、アンコンシャスバイアスを意識し、海外籍社員と接することが必要														
タイムテーブル (1日研修の場合)	<table><tr><td>時間</td><td>アジェンダ</td></tr><tr><td>13:00</td><td>文化的多様性の利点と課題</td></tr><tr><td>14:00</td><td>ケーススタディ① 「ほう・れん・そう」</td></tr><tr><td>15:00</td><td>日本の商習慣における文化的特徴 日本の考え方と習慣 / 規範</td></tr><tr><td>15:30</td><td>ケーススタディ② 「空気を読んで？」</td></tr><tr><td>16:30</td><td>アクションプランの作成</td></tr><tr><td>17:00</td><td>まとめ</td></tr></table>	時間	アジェンダ	13:00	文化的多様性の利点と課題	14:00	ケーススタディ① 「ほう・れん・そう」	15:00	日本の商習慣における文化的特徴 日本の考え方と習慣 / 規範	15:30	ケーススタディ② 「空気を読んで？」	16:30	アクションプランの作成	17:00	まとめ
時間	アジェンダ														
13:00	文化的多様性の利点と課題														
14:00	ケーススタディ① 「ほう・れん・そう」														
15:00	日本の商習慣における文化的特徴 日本の考え方と習慣 / 規範														
15:30	ケーススタディ② 「空気を読んで？」														
16:30	アクションプランの作成														
17:00	まとめ														



お問い合わせ・お申込みはwebサイトより受け付けています。
<https://7seas.co.jp/contact/>
株式会社 セブンスー 150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル9・11階

7Seas

Q 検索

Copyright © SevenSeas Co.,Ltd. All Rights Reserved